

一般質問



わたなべ よしまさ
渡辺 佳正 議員

(日本共産党議員団)

核兵器廃絶平和都市宣言をしている富士宮市の取組みについて

問 被爆地広島への中学生派遣事業の継続について、市長はどう考えるか。

市長 意義ある事業として今後も継続したい。修学旅行についても、学校長の判断で広島に行く場合は、補助金を出していきたい。

問 富士宮市の戦争史の調査研究にどう取り組むか。



▲平和の像 はばたき
(富士宮駅南口)

市長 富士宮市史編さん事業の中で重要なテーマとして取り組む。

問 世界で唯一の戦争被爆国として、核兵器禁止条約に署名・批准することについて、どう考えるか。

市長 人類を破滅に導くおそれのある核兵器と原発の排除は、私の政治信条である。日本政府が核兵器禁止条約に署名・批准することは当然である。現在の状況を残念に思っている。

学校給食に地元食材の活用をさらに進めることについて

問 農協から富士宮産100%米の購入量を増やすなど、地元食材の使用率を高めるにはどうしたらよいか。

部長 富士宮産米の購入量を増やせるかどうか農協と相談したい。野菜など必要な量を納入してもらえるように、生産者の体制を整えていただくことも必要。

問 全国に誇る富士宮産100%牛乳の供給体制を維持発展させる取り組みは。

部長 新たな販売先など市場の開拓支援、ふるさと納税の返礼品としての活用、新商品ヨーグルトのPRなどに取り組んでいるが、さらに強めたい。



すずき ひろし
鈴木 弘 議員

(政経会)

令和2年3月で旧芝川町との合併10周年になるがそこで何う

問 国による財政措置である普通交付税の算定の特例(合併算定替え)は試算と同じように配分されたか何う。

部長 合併算定替えによる金額は全て算定されている。

問 村落の人口減少、コンパクトシティ、人手不足などと言われ不安を感じるが大丈夫か、市長に何う。

市長 人口減少、そしてコンパクトシティが叫ばれる中であるが、土地利用基本構想において「伝統・文化を引き継ぐ集落環境維持」を方針として掲げ、芝川地区、北部地区についての施策を展開してきた。これからも芝川地区を含む市民の皆様の幸せのためにまちづくりを進めていきたい。

意見 山村には豊かな自然がある。自然の資源を市の財産として活用できればと思う。新しい技術を使ってそれらの価値をよみがえらせることができ、山村地域とまちなかがつなげれば合併して本当によかったとなるではないかと思う。

富士川洪水浸水想定区域について

問 樋門(ひもん)が閉じられた後、降雨量が増せば内水被害が発生する。その場合の対策は。

部長 国土交通省の排水ポンプ車の派遣要請が考えられる。また現在富士川の河川管理者である国において排水作業計画を作成中であり、令和3年度出水期までに公表予定と聞いている。

裾野市のトヨタと連携したまちづくりについて

問 当市において現在まちづくりにおける企業との連携はあるか何う。

部長 このような企業との連携の話はない。

市長 2020年以降、やっぱり夢のあるまちの構想を練っていくことが大事だと思う。